

---

# ゴールデンルーキー

黒猫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ゴールデンルーキー

### 【Nコード】

N2430P

### 【作者名】

黒猫

### 【あらすじ】

大石の入団が話題に新しい2010ドラフトの影でひっそり8位入団していた一人の投手がいた。

その投手が日本プロ野球界を掻き回す!!

## ドラフト8位指名

スター選手が乏しいと言われた2010年度ドラフト

そのドラフトで西武に8位指名された高校生の投手が日本プロ野球界を根本的に変えるのはそう遠い未来では無かった・・・。

### 1 / 目標は「沢村賞」

ドラフト8位指名というのはいえ最下位だ。その最下位投手、しかも高校生の若造が入団会見でマスコミの度肝を抜いたのだ。

その年のドラフトは、西武が1位指名した実力はプロ級と噂される大石投手が人気を博していた。大石投手の持ち味は155kmを越える直球と鋭く落ちるフォークだ。

当然、入団会見では、大石に質問が集中した。そして開始40分後、謎の8位投手に質問が飛んできた。

「今年の目標は何ですか？」 無難な質問だ。だいたい是一年間頑張りたいです。とか一軍昇格が目標です。言っただろう。しかし謎の無名投手はこう言ったのだ。

「目標は沢村賞です。」辺りは騒然となった。それもそのはず無名のしかも8位指名投手がルーキーイヤーの目標を沢村賞と言ったのだ。当然、翌日の新聞はそのニュースが踊った。

しかし、時が過ぎれば話題は大石に集中していった。野球ファンは大石のローテーションを期待していた。

当然、2011シーズンのローテーションを期待されていた。勿論、大石自身もそうだったはずだった。しかし、春期キャンプで中島裕行の打球が足に当たり長期離脱を余儀なくされたのだ。

そして大石の代わりに1軍昇格したのが謎の無名8位投手「内田健斗」だったのだ。

内田が1軍昇格した理由は実力を認められたからではない。ただアンダースローが西武の投手陣では珍しかったからである。首脳陣も大石が復帰するまでの繋ぎとしか考えていなかったのだ。

しかしその内田がルーキーイヤーにやってのけた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2430p/>

---

ゴールデンルーキー

2010年12月1日15時14分発行